学校保健委員会　学校三師、関係機関からの指導助言内容

R4.7.29

谷川駐在所　田之上さん

・登校の様子を見ていると、子どもたちの旗当番、すばらしい。自分たちで安全に登校できている。
・昨年度、市内中学生の痛ましい事故があった。子どもたちが気をつけていても、ドライバーから見えていない場合がある。交差点で一歩下がって待つなどの指導を。
・どこからでも入れる構造の学校。どのような安全対策をとられている？
　→保護者に入校証を渡す、職員から来客者へのあいさつ（犯罪の抑止力に）
　どこからでも入れる構造であるため、安全管理は今後の課題。

丹波市健康課　足立保健師さん

・市の保健事業として、食育・歯科保健・睡眠・たばこ対策等の出前事業など実施している。ぜひ活用ください。（「学童期・思春期保健事業について」の資料参照）

学校医　中川先生

〇コロナ関連
　・現在の状況としては子どもたちの社会体育から感染することが多い印象。そこから家庭へ広がる。
　・この１週間は世界で日本の感染が一番多くなっている。
　・AI の予測によると 8/6～10 ごろにピークが来る予想。ピーク後も下がりは緩やかな予想。
　・しかし、新しい株ケンタウロスが流行すれば、先の見通しはわからない。
　・こどもは2，3日で解熱し、症状も軽い場合が多い。
〇その他
　・登下校時のマスクの有無によって、熱中症のリスクは変わらないという研究結果がある。
　・しかし、文科省からの文章では登下校時はマスクをとる、となっているので、とる指導で問題ない。
　・夏休み明けからの運動会練習、熱中症に十分気をつけて。水分補給、こまめな休憩等

学校歯科医　清水先生

　・今年度の歯科検診の特徴として、歯石がついている児童が多かった。
　・歯肉炎等、歯周病のことも周知させて、予防的な対応ができるようにしてほしい。

学校薬剤師　村岡先生

　・エアコン、扇風機、空気清浄機、CO2 モニター等を使って、教室の換気等十分に行っていただけている。空気清浄機等設備が整っているので、あまり大きく窓・ドアを開放しなくてもよい。対角線上に5㎝ずつ空ける程度で大丈夫。熱中症の心配もあるので気温への配慮もお願いします。